

授業改善①

< 学習の主体は「子供」であることを再確認しています >

北野小学校長 丹羽 郁人

私たちは、子供たちの「生きる力」を育むことを目指しています。その力とは、子供自身が考え、判断し、行動できる力です。教師が一方的に知識を伝授するだけの「授業」では、その力は育たないと考えます。そのためには「授業改善」が必要。どんな授業かと言えば「主体的・対話的で深い学び」のある授業です。

まずは、授業学習の主体は「子供」とであると再確認し、子供たちが活躍する授業、活動的な授業を実践し続けていきます。



「ぼくが見つけたたんぼぼの秘密は……」
2年2組・国語（説明文）「たんぼぼ」



「気温が上がっているのはグラフが……」
4年1組・算数「折れ線グラフ」



（好きな食べ物）「ぎょうざ」「いちご」「ケーキ」
3年2組・トークトレーニング中



「180度まわしても角の大きさは……」
6年2組・算数「対称な図形」

☆ ペア学習、グループ学習を意識的に取り入れます。

→ 子供たちの「活動量」は格段に増えます。

☆ 発言は、クラスみんなに向かって言うことを習慣づけます。

→ 先生だけに向かって言うのではなく、クラスの仲間に言えるように支援します。

☆ 前に出て発言することを厭わない子をみんなで育てます。

→ 子供が前に出て、説明をしたり、語ったりすることを支援します。

(2021・7・2)